

## 別紙

## 令和7年度宮城県電源立地地域対策交付金事業評価報告書

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	仙台市都市公園整備事業	仙台市	8,800,000	4,959,000	

(注) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

## II 事業評価個表（令和7年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	仙台市都市公園整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	仙台市	
交付金事業実施場所	仙台市宮城野区鶴ヶ谷地内	
交付金事業の概要	・開園後40年以上経過している鶴ヶ谷中央公園の再整備	
交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【主要政策・施策】</p> <p>仙台市基本計画（令和3年度～令和12年度）</p> <p>未来をつくる市政運営</p> <p>杜の恵みと共に暮らすまちへ</p> <p>1 みどり</p> <p>(1) みどりあふれる空間をつくる</p> <p>公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の憩いの場や子どもたちが遊べる場として、多様な主体のアイデアなどを取り入れながら身近な公園の魅力づくりを進めます。</li> </ul> <p>仙台市みどりの基本計画（令和3年度～令和12年度）</p> <p>基本方針4 みどりとともに人が育つまち</p> <p>施策の柱⑨ 暮らしの質を高める身近なみどりを充実させる</p> <p>施策1) 地域の特色を踏まえた公園緑地等の整備</p> <p>地域の公園等に対するニーズを把握・分析し、必要に応じ機能の再編を図るとともに、既存公園緑地のリニューアルを推進します。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や市民ニーズをとらえた魅力ある公園の整備を行う。</li> </ul>	

事業開始年度	令和7年度		事業終了（予定）年度		令和7年度					
事業期間の設定理由	令和7年度において「鶴ヶ谷中央公園再整備」を行うため。									
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和7年度				
	安全で快適な公園の確保	公園の整備・再整備事業を進捗させる	成果実績	箇所	1					
			目標値	箇所	1					
			達成度	%	100					
	評価年度の設定理由									
	交付金対象工事完了時に評価を実施するため。									
交付金事業の活動指標及び活動実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等									
	・鶴ヶ谷中央公園を地域住民のニーズに即した公園とするため、遊戯施設の設置工事を実施できた。									
	評価に係る第三者機関等の活用の有無									
	無									
	活動指標			単位	令和7年度	年度				
	鶴ヶ谷中央公園再整備工事 一式			式	1					
交付金事業の総事業費等	令和7年度		年度	年度		備考				
	総事業費		8,800,000			8,800,000				
	交付金充当額		4,959,000			4,959,000				
	うち文部科学省分		0			0				
	うち経済産業省分		4,959,000			4,959,000				
交付金事業の契約の概要										
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額					
受注者の決定		指名競争入札	東北アメニティ施設株式会社		8,800,000					
計										
交付金事業の担当課室	仙台市建設局百年の杜推進部公園管理課									
交付金事業の評価課室	仙台市建設局百年の杜推進部公園管理課									

- (注)
- (1) 事業ごとに作成すること。
  - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
  - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
  - (4) 交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
  - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
  - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関する市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性な成果及び評価を記載すること。
  - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。  
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
  - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。  
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
  - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記（6）の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
  - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
  - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
  - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
  - (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。